

箱根組ニュース

第354号 2022年 10月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

大型台風14号が迫る中、単独山行で九鬼山ロングコースを歩く、とても面白い山々だった！

9月18日(日)、京王線新宿駅6時9分発の急行高尾山口行きに乗車。高尾でJR中央線甲府行きに乗り換え、7時6分発。大月で7時55分発の富士急行線に乗り換え禾生駅8時4分着。

雨はそれなりに落ちていたので、車内で雨対応の完全装備をする。駅のホームの屋根の下で入念に装備のチェック。

8時20分、出発。駅で一瞬方角を勘違いして踏切を渡って反対方向だと思い込んでいた。大月からの電車の方角で感覚が狂っていたようだ。ヤママップで確認して間違いに気づき脳内感覚を取り戻す。

踏切と反対側の信号のある交差点を左折する。しつかり雨が降っていて、車の水跳ねに気をつけながら進む。少し行くと正面にはリニア実験線のガードが見える。

8時半、九鬼山の案内標識に従って右に鋭角に曲がる。レトロな感じのレンガ色の水道橋が右正面に見える。水道橋をくぐったら左方向に道は曲がる。民家の

前のシウメイギクが美しい。

8時35分。標識が二つに分岐している。右は杉山新道コース、左は愛宕神社コースだ。今日は少し短い左のコースに行く。その先のコスモスは満開状態だが強い雨に打たれてうなだれている。それでも可憐な美しさは変わらない。ただそれを優雅に眺めている心の余裕はあまりない。

左側にある標識を見過ごしていき過ぎてしまう。地図を確認しすぐに戻る。戻ってみるとすぐに標識があり左に曲がって山道に入ってゆく。

8時38分、愛宕神社の真つ赤な鳥居が左側に見える。ここから本格的な山道になる。雨が強くなり登山道は沢状態で水を避けながら登って行くが、最近登山靴の防水が効かなくなっていて左足から水がしみ込んでいたのがわかった。

雨水は山道を勢いよく流れて下ってくる。この状態はほぼ山頂まで続いた。9時24分、田野倉駅から登ってくるルートが左側から合流する。あと45分



ほどで山頂だ。ここからしばらくは割と平坦な尾根道だ。あちこちでガマガエルに遭遇する。道の真ん中に大きなのがいるとちよつとびっくりする。

9時56分、右、「天狗岩、展望良し」の看板辺りから傾斜がきつくなる。時折来る激しい雨の中じつくりと登って行く。カッパの帽子にあたる雨は頭皮のマッサージ効果があるほどの雨になる。

10時15分、尾根に出る。雨は少し小やみになるがまた降ってくる。尾根の左方向が山頂だ。

10時20分、九鬼山山頂(970m)。もちろん人は誰もいない。雨も落ちているので写真だけ取って先に進む。下つてゆくと蛇行した沢状態でまるで大蛇のようにうねうねと流れている。

10時36分、尾根を外れて道は90度左に曲がる。看板と進入禁止の枝など

収支	
繰越収入	24605 円
支出	0 円
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	200 円
現在高	23905 円

もあるの間違えることはないが、尾根はそう先に行きたくなくするように続いている。緑の自然林が気持ちいい。10時50分、広場に出る。天気が良ければ景

色が美しいだろう。ここが多分「紺屋の休場」だろう。

11時4分、田野倉と猿橋方面の分岐。田野倉に降りれば50分ほどで駅に着く、エスケープルートには最適だ。

ここから先は多分初めてのルートだと言うが猿橋方面に進む。雨に気を取られたのか「札金峠」の標識に気づかなかった。

12時5分、道は90度右に曲がる。ここは左に行けば田野倉に降りるもう一つのルートのはずだが案内標識は出ていない。

12時14分、馬立山(797m)到着。急に明るくなつたと思つたら、日差しがこぼれてきた。カッパの上着を初めて脱いだらとても涼しい。小休止。

靴の中が水でぐちゃぐちゃなので靴を脱いで靴下をしつかり絞ってコンビニ袋をはいてから靴を履いたらかなり快適だ。再出発。

12時50分、沢井沢の頭(740m)通過。

10月16日(日)筑波山(877m)へ行きます。

らくだコース 歩行時間約1時間位

上りはロープウェイ、下りはケーブルカー利用で楽々です。山頂付近を散策します。帰りは筑波山神社をお参りし、ホテルの天空の露天風呂で絶景を堪能します。

※「筑波山きっぷ」を買うとお得です。

秋葉原から往復4380円 電車、バス、ロープウェイ、ケーブルすべて乗れます。(850円お得)

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 10月14日(金)。

集合 10月16日(日)

つくばエクスプレス秋葉原駅
8:00発 快速つくば行き
(前から3両目)

つくば 8:45着(バス乗換)
つくばセンター 9:00発
筑波山行き つつじが丘 9:50着

交通費 筑波山きっぷ4,380円(秋葉原～)

注意:筑波山あるキップではロープウェイとケーブルに乗りません。

日帰り入浴は約1000円です。

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

12時56分、右、猿橋、御前山方面、左、菊花山、大月方面の分岐。猿橋方面が30分短いのだが、あえて長い大月方面に挑戦する。(・・・大月駅にはお店がたくさんあるのも理由だ)

13時10分、かなり下って林の中の鞍部のところで小雨を避けて短時間で軽い昼食。

さて、菊花山に向かう。疲れた体でよじ登ってゆく。いったん下っているの



高く感じる。雨に濡れた緑の楓、黄葉しかかった木の葉が美しい。篠竹の山道を登り、ごつごつした岩を超えてゆく。

13時56分、菊花山(643.6m)到着。岩がこんもりした狭い山頂だが晴れていれば景色はいいようだ。ガスの上に百蔵山らしき山頂がうっすら見えた。大月市街、富士急線方面の街並みも眼下に確認できた。晴れていれば絶景だろうのんびりしていたらまた雨がぼつぽつ



来たので出発。山頂の萩が秋を感じさせる。

途中下山道が二つに分かれるが、時間の短い右側を行くと岩場に鎖やロープの付いた急なコースだったが面白かった。

3時、目の前に広い道路が現れる。甲州街道の大月バイパスだ。10分ほどで大月駅に到着。



